

佐賀県感染症発生動向調査速報

平成17年第19週 平成17年5月9日(月)～平成17年5月15日(日)

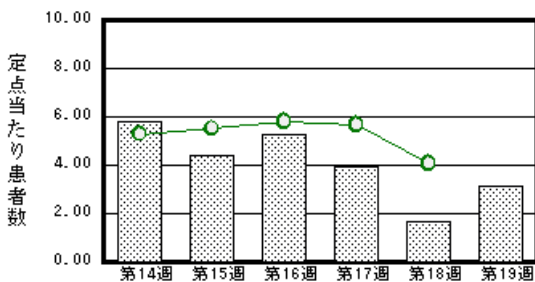
<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

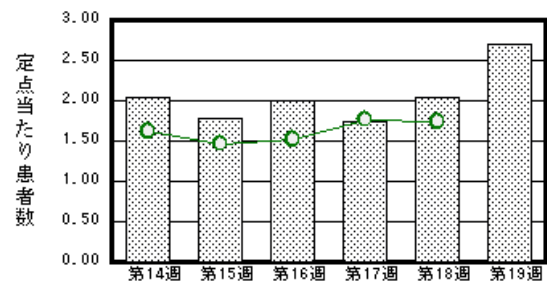
注目疾患の動向

- 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎 (72名) 水痘 (62名) 流行性耳下腺炎 (42名) ヘルパンギーナ (34名) 突発性発しん (31名)
- 【水痘】患者報告数が増加しました (47 62名)。特に唐津保健所管内で多く報告されています。
- 【ヘルパンギーナ】患者報告数が増加しました (10 34名)。これから流行時期になりますのでうがい、手洗い等、一般的な感染予防に努めましょう。詳しくは国立感染症研究所感染症情報センターの「感染症の話」を御覧ください。
http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03_08.html
- 【インフルエンザ】伊万里保健所管内の小学校でインフルエンザによる学級閉鎖がありました。患者よりインフルエンザウイルスA香港型が検出されました。県内においてもまだ患者発生がありますのでうがい、手洗い等、一般的な感染予防に努めましょう。

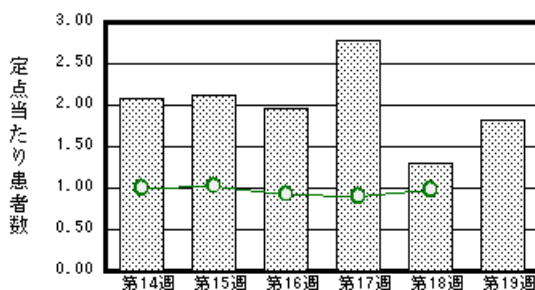
感染性胃腸炎



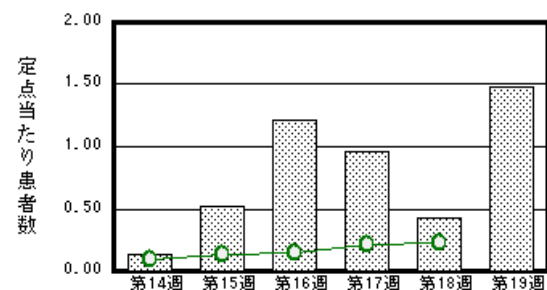
水痘



流行性耳下腺炎



ヘルパンギーナ



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。<http://www.kansen.pref.saga.jp>

全国版感染症週報 (DWR) 2005年第16週号 (4月18日～4月24日) 要点

・ 発生動向総覧	< 第16週 > ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第12週以降、増加が続いており 過去5年間の同時期と比較してやや多い / その他最新動向
・ 注目すべき感染症	< 水痘 > 2004年の定点医療機関からの総報告数は246,655名であり 1999年4月に感染症法が施行されて以降、大きな変動はない
・ 病原体情報	インフルエンザウイルス2004/05シーズン / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス2004/05シーズン
・ 速報	日本のAIDS患者 HIV感染者の状況 (平成17年1月3日～4月3日) - エイズ動向委員会委員長コメント(要旨)
・ 海外感染症情報	アンゴラでのマールブルグ病流行 - 更新 / インドネシアでのポリオ患者発生
・ 感染症の話	< 今週はお休みです >

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページを御覧ください。<http://www.idsc.nih.go.jp>

佐賀県感染症発生動向調査速報

http://www.kansen.pref.saga.jp

佐賀県感染症情報センター

全数届出の感染症 (佐賀県)

インフルエンザ様疾患学年(級)閉鎖状況(速報)

今週の届出はありませんでした。

施設名	学年名等	措置等
伊万里市立立花小学校	4年1組*	5/17-18 学級閉鎖

*備考	在籍者数	患者数	欠席者数
	37名	25名	19名

佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 (五類感染症 (週報分))

平成17年第19週

平成17年5月9日(月)~平成17年5月15日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	佐賀中部 保健所	鳥栖 保健所	唐津 保健所	伊万里 保健所	杵藤 保健所	計	前週	全国 (第18週)
インフルエンザ (39)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	8 0.62	8 1.60			2 0.22	18 0.46	19 0.49	4809 1.02
小児科 (23)	RSウイルス 感染症								40
	咽頭結膜熱		2 0.67				2 0.09	4 0.17	658 0.22
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	4 0.50	8 2.67	5 1.25	1 0.33	6 1.20	24 1.04	11 0.48	2923 0.96
	感染性胃腸炎	23 2.88	12 4.00	5 1.25	11 3.67	21 4.20	72 3.13	39 1.70	12313 4.05
	水痘	12 1.50	7 2.33	22 5.50	8 2.67	13 2.60	62 2.70	47 2.04	5302 1.74
	手足口病	3 0.38	2 0.67	3 0.75	1 0.33	3 0.60	12 0.52	14 0.61	761 0.25
	伝染性紅斑	2 0.25	4 1.33	2 0.50	3 1.00		11 0.48	7 0.30	586 0.19
	突発性発しん	6 0.75	8 2.67	10 2.50	3 1.00	4 0.80	31 1.35	22 0.96	1569 0.52
	百日咳								18 0.01
	風しん								17 0.01
	ヘルパンギーナ	14 1.75	5 1.67	6 1.50		9 1.80	34 1.48	10 0.43	690 0.23
	麻しん (成人 麻しんを除く)								8 0.00
	流行性耳下腺炎	13 1.63	10 3.33	4 1.00	8 2.67	7 1.40	42 1.83	30 1.30	2969 0.98
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								5 0.01
	流行性角結膜炎								423 0.66
基幹 (6)	細菌性髄膜炎	1 0.50					1 0.17		7 0.01
	無菌性髄膜炎								6 0.01
	マイコプラズマ肺炎			2 2.00			2 0.33	1 0.17	69 0.15
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								7 0.01
	成人麻しん								1 0.00

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は16週分(患者報告数)である。

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 :五類感染症)

平成17年第19週 平成17年5月9日(月)~平成17年5月15日(日)

インフルエンザ 定点	インフル エンザ (高病原 性鳥イン フルエン ザを除く)	小児科 定点	RSウ イルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルバ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコバ ラズマ肺 炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん
6ヶ月未満		6ヶ月未満					4			3						6ヶ月未満							
12ヶ月未満		12ヶ月未満				6	4	1		20			3			12ヶ月未満			1				
1歳	4	1歳			1	12	15	4		8			14		5	1歳							
2歳		2歳		1	1	9	13	4					8		4	2歳							
3歳		3歳		1	3	9	12	2	3				2		9	3歳							
4歳	1	4歳			5	4	8	1	1				3		6	4歳							
5歳		5歳			4	5	4		4				1		9	5歳					1		
6歳		6歳			5	10	1						3		4	6歳							
7歳	1	7歳			2	3			3						3	7歳					1		
8歳	2	8歳				2									2	8歳							
9歳	1	9歳			1	3										9歳							
10歳~14歳	7	10歳~14歳			2	7										10歳~14歳							
15歳~19歳		15歳~19歳														15歳~19歳							
20歳~29歳		20歳以上				2	1									20歳~29歳							
30歳~39歳	2															30歳~39歳							
40歳~49歳																40歳~49歳							
50歳~59歳																50歳~59歳							
60歳~69歳																60歳~69歳							
70歳~79歳																70歳以上							
80歳以上																							
合計	18	合計		2	24	72	62	12	11	31			34		42	合計			1		2		
前期計	19	前期計		4	11	39	47	14	7	22			10		30	前期計					1		
当期間/前	0.95	当期間/前	***	0.5	2.18	1.85	1.32	0.86	1.57	1.41	***	***	3.4	***	1.4	当期間/前	***	***	***	***	2	***	***
増減数	-1	増減数		-2	13	33	15	-2	4	9			24		12	増減数			1		1		

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

